

資料5-1

【平成29年度実績】

○岩国市

名称	概要
錦帯橋ロゴマーク啓発活動	作成数：缶バッジ300個、スタップジャンパー30着 内容：平成30年2月に決定したロゴマークを活用し、岩国小学校の子どもガイドが付けるバッジや岩国市観光振興課のスタップジャンパーを作成した。
錦帯橋扇子の作成	規格：片面布貼、21cm 作成個数：1,000本 内容：イベント時に配布するグッズの一つとして作成した。
学校行事における錦帯橋説明	開催日：通年(依頼に応じて対応) 参加者数：約810人 内容：市内小中学校の社会見学等において、錦帯橋の歴史や構造、世界遺産に向けた取組について紹介した。(平成29年度実績：11回)
錦帯橋模型組立	開催日：通年(依頼に応じて対応) 主催者：各行事の主催者 参加者数：人数に関しては不特定多数参加の会場もあったため、不明 内容：錦帯橋まつり、ペリースクール、川下小学校などにおいて、錦帯橋5分の1スケール模型の組立体験等を実施した。(平成29年度実績：7回)
錦帯橋大工技術研修会	開催日：月1回(年12回) 参加者数：15人(研修生) 内容：大工職人や大工職人を志す者を対象に、大工技術の伝承、技術力向上を目的とした研修会を開催した。
錦帯橋こども大工チャレンジ	開催日：平成29年5月～平成30年3月の間、月1回(年11回) 参加者数：7人(受講生) 内容：小学5年生から中学1年生までを対象に、「ものづくり」をおして木に触れ、錦帯橋に代表される木造文化を知る機会を作り、一人一人の技術の向上とともに、錦帯橋をより身近に感じてもらうことを目的に開催した。
【錦帯橋】岩国市公式ホームページ	アドレス： http://kintaikyō.iwakuni-city.net/ 更新回数：10回(新着情報等) アクセス数：約194,000件 内容：錦帯橋の歴史、技術、四季折々の画像や、世界遺産登録に向けた取組などを紹介するホームページ上に おいて、適宜情報発信を行った。

全国木橋サミット 2017inつるた(青森 県)	開催日:平成29年8月29日(木) 主催:鶴田町、公益社団法人土木学会木材工学委員会 参加者数:約290人 内容:「錦帯橋 伝承の歴史」について発表するとともにパネルディスカッションを行い、錦帯橋及び世界遺産 登録推進活動についてPRを行った。
錦帯橋世界文化遺産 専門委員会	開催日:2回(平成29年7月23日、平成30年3月25日)

○岩国市教育委員会

名称	概要
錦帯橋学 「こどもガイド」 岩国小学校	活動期間:通年 参加者数:約850人 内容:1年生の時から錦帯橋を学習する機会を設けており、その集大成として、6年生の時に児童達が錦帯橋など 吉香公園内にある5施設で観光客に紹介した。 平成29年度は慶尚南道からの教育視察団へのガイドも行った。
錦帯橋学 「こどもガイド」 御庄小学校	活動期間:通年 参加者数:約130人 内容:岩国の歴史や吉川氏の歴史を中心に学習した。シロヘビなど錦帯橋付近の観光資源についてのパンフ レットを作成して、観光客に配るガイド活動を行った。
錦帯橋学 「錦帯橋歴史学習」 柱野小学校	開催日:平成29年11月28日 参加者数:20人 内容:徴古館から講師を招聘して、岩国城や錦帯橋、柱野地区の歴史についての学習会を実施した。
錦帯橋学 「世界文化遺産PR活 動」 岩国中学校	活動期間:通年 参加者数:約300人 内容:錦帯橋を題材にした授業を実施した。錦帯橋をテーマに美術の授業でPRポスターを作成したり、国語 の授業で短歌・俳句の制作を行ったりした。 修学旅行で京都や奈良を訪れた際、外国人観光客に錦帯橋を紹介する英語パンフレットを配布して、 英語での案内を行った。
出前授業における錦 帯橋の説明	開催日:通年(依頼に応じて対応) 参加者数:約490人 内容:市内小中学校の社会見学等において、錦帯橋の歴史や構造、世界遺産に向けた取組について 紹介した。(平成29年度実績:8回)
企画展「錦帯橋展」の 開催	開催期間:平成29年5月28日～7月9日 来場者:約2,900人 内容:徴古館で、錦帯橋に関する古文書や写真資料を中心に展示し、錦帯橋の歴史を紹介する企画展を開催した。

○岩国市議会

名称	概要
世界文化遺産登録に向けた横断幕	規格:横3.6m×縦1m 内容:錦帯橋世界文化遺産登録に向けた機運の醸成を図るため、錦帯橋の画像を背景とする横断幕を作成し、各種行事の際に掲示。
錦帯橋世界文化遺産登録推進行動(パレード)	開催日:平成29年4月8日 参加者数:30名 内容:錦帯橋協議連合会が、錦帯橋及びその周辺で、錦帯橋の世界文化遺産への登録推進をアピールする為、横断幕や幟を準備し、街宣活動を行った。
錦帯橋世界文化遺産講演会	開催日:平成29年4月23日 共催:岩国市、後援:岩国市教育委員会、協力:錦帯橋を世界文化遺産に推す会 参加者数:約150名 内容:青柳正規前文化庁長官による「世界文化遺産登録に向けた市民活動の手法について」と題した講演会を開催した。
錦帯橋世界文化遺産登録推進に係る要望書の提出	開催日:平成29年4月13日 参加者数:12名 内容:錦帯橋協議連合会が、地元選出国會議員に対し、要望活動を行った。

○山口県

概要	
名称	
山口県Webサイト「錦帯橋世界文化遺産登録推進協議会」	<p>アドレス: http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50400/Kyushu-Yamaguchi/suisinkyougikai.html 更新回数: 3回 アクセス数: 平成29年4月1日～平成30年3月31日 459件 内容: 錦帯橋世界文化遺産登録推進協議会 第2回会議の開催状況の報告、配布資料を掲載。ロゴマーク決定、ホームページ開設を掲載。</p>
教育活動	<p>実施校及び内容 ①授業の取組 (岩国商業高等学校ほか) ②部活動の取組 (錦帯橋周辺を紹介する観光マップ(第2版)を作成し、観光案内地等で無料配布した。) (岩国高等学校)</p>
政府要望	<p>実施日: 平成29年6月13日、11月9日 内容: 文部科学省(文化庁)に錦帯橋の世界文化遺産登録に向けた取組への支援を要望</p>
文化財出前講座「学べる!文化財講座」世界文化遺産について学ぶ!	<p>実施日: 平成30年1月12日(金) 対象: 宇部市立厚南小学校 4年生72人 内容: 県内の小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の児童・生徒を対象に、世界遺産の制度や、萩市の5資産が含まれる世界遺産「明治日本の産業革命遺産」や、世界遺産を目指した「錦帯橋」の取組などを、学校の内容を踏まえて説明した。</p>
やまぐち県政出前トーク「山口県内の世界遺産」	<p>実施日: 平成30年2月14日(水) 対象: 防府あすなろロータリー地域社会共同体 20人 内容: 県民等によるグループ・団体を対象に、世界遺産の制度や、萩市の5資産が含まれる世界遺産「明治日本の産業革命遺産」や、世界遺産を目指した「錦帯橋」の取組を紹介した。</p>

○錦帯橋を世界文化遺産に推す会

名称	概要
<p>錦帯橋ものがたり 錦帯橋の世界文化遺産登録を目指して 寄贈配布</p>	<p>規格・ページ数:A4、カラー、40ページ 配布先:①岩国市内小・中学校 各2部計150部 ②関係来議院議員・参議院議員、文部科学省・文化庁関係者 計40部 内容:①岩国市教育委員会を通じて各学校に寄贈配布。 ②平成30年3月7日訪問時に関係者に手渡し。</p>
<p>錦帯橋を世界文化遺産に推す会 ホームページ</p>	<p>アドレス:http://kintaikyو.iwakuni-city.net/ アクセス数:約50,000件 更新回数:10回 内容:錦帯橋の歴史や木組み独自の技術の内容について分かりやすく説明し、理解を深めた。 錦帯橋世界文化遺産に推す会の活動を紹介した。</p>
<p>錦帯橋を世界文化遺産に推す会 Facebook</p>	<p>アドレス:https://www.facebook.com/kintaikyو.sekaiisan/ フォロワー数:351 内容:錦帯橋世界文化遺産に推す会の活動の紹介や関係団体の投稿をシェアした。</p>
<p>調査研究「隔石の探索」</p>	<p>内容:錦帯橋架橋の構造上、隔石は大きな機能を持つもので4つの橋脚に各々5個あったが、現在は行方不明である。来年度も引き続き探索する。</p>
<p>調査研究「錦帯橋の桁に用いられた巻金・錠の調達先」</p>	<p>内容:錦帯橋の橋桁は大きな断面集材材といえる。それは創建当初の独自の発想であり、それを可能にした巻金・錠があった。その調達先を探る。例 隅屋鉄山(加計町)</p>
<p>公開講演 「錦帯橋の価値について考える」</p>	<p>開催日:平成29年6月24日 参加者数:約100人 内容:東京大学生産技術研究所 腰原幹雄教授による錦帯橋の顕著な普遍的価値について、組立の特殊性を解析し、独自技術、秀逸性の観点から平易に解説する講演会を開催し、世界遺産登録への機運を醸成した。</p>
<p>岩国吉川会 オープンフォーラム</p>	<p>開催日:平成29年11月11日 場所:岩国医療センター研修ホール 参加者数:約80人 内容:第4回オープンフォーラムに共催。児童・生徒向けの公募課題「私の好きな岩国の偉人」の優秀作品に会長賞を授与。</p>

錦帯橋ロードレース	<p>開催日：平成30年3月4日 参加者数：(会員)延25名 内容：岩国恒例の「錦帯橋ロードレース」にボランティア活動として、完走者の介助。終点付近に「のぼり旗」付設。</p>
文部科学省・文化庁 訪問	<p>開催日：平成30年3月7日 参加者数：名誉会長、会長、幹事6人、岸衆議院議員、秘書2人 訪問先：林文部科学大臣、文化庁 中岡次長、文化庁記念物課 大西課長、文化庁世界文化遺産室 渡辺室長 内容：錦帯橋を世界文化遺産に推す会の4年間の活動報告、錦帯橋を世界文化遺産にするための今後の取組 ・活動についての意見拝聴。</p>

○一般社団法人岩国市観光協会

名称	概要
城下町岩国(錦帯橋)の史跡を訪ねて(錦帯橋周辺散策マップ)	規格・ページ数:A4、2色刷 発行部数:250,000部 言語:日本語 内容:錦帯橋を中心として、その周辺の主要観光施設をはじめ、広告を募り、宿泊施設、飲食店等も掲載。「錦帯橋を世界遺産に！」の一文を掲載している。
第40回記念錦帯橋まつりチラシ	作成主体:(一社)岩国市観光協会員 錦帯橋まつり実行委員会 規格・ページ数:B4、3色刷り 発行部数:60,000部 言語:日本語 内容:第40回記念錦帯橋まつりの各行事時間・場所や交通規制図等を掲載。「錦帯橋を世界遺産に！」の一文を掲載している。

○岩国商工会議所

名称	概要
第40回錦帯橋まつり錦帯橋スタンプラリー	開催日:平成29年4月29日 参加者数:1,500名 内容:錦帯橋周辺にて、スタンプラリーを通じて錦帯橋の歴史や構造についてのクイズを出題し、錦帯橋のPRや世界遺産登録へ向けた気運を盛り上げるための活動を行った。 錦帯橋5分の1模型の製作体験を行った。
第50回錦川水の祭典～花火大会～青年部『宝探し大会』	開催日:平成29年8月5日 参加者数:1,300名 内容:うちわの台紙でスタンプラリーを行い、錦帯橋の歴史や構造についてのクイズを出題し、錦帯橋のPRや世界遺産登録へ向けた気運を盛り上げるための活動を行った。
第61回岩国まつり錦帯橋スタンプラリー	開催日:平成29年10月15日 参加者数:500名 内容:岩国祭第二会場にて、スタンプラリーを通じて錦帯橋の歴史や構造についてのクイズを出題し、錦帯橋のPRや世界遺産登録へ向けた気運を盛り上げるための活動を行った。